

授業科目名	生理学Ⅱ(講義)	担当教員	准教授 桑子賢一郎 (他 日程表に記載)
開講年次・学期	2年通年	必修/選択	必修
開講形態	講義	時間数/単位数	26時間
授業概要			
<p>生理学は生体機能の特性やその制御機構の解明を目指す学問と位置づけられる。分子・細胞・生体レベルにわたる包括的な知識を得ることにより、臨床医学の基礎である正常生理機能の理解を深める。</p> <p>生理学Ⅱでは、神経活動、シナプス、骨格筋・平滑筋・心筋、感覚器、中枢神経系などについての講義を行う。また、特別講義において第一線の研究に触れることにより、基礎医学研究の楽しさや進め方を理解する。</p>			
GIO(一般目標)			
神経・筋肉系の生体機能を生み出すシステムを分子から個体レベルまで広く学び、人体の正常生理機能についての理解を深める。			
SBO(行動目標)			
<p>(1)神経細胞の基礎現象(膜電位・興奮・伝導)を説明できる。</p> <p>(2)骨格筋・平滑筋・心筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>(3)感覚器官の構造と機能を説明できる。</p> <p>(4)中枢神経系における情報統合と機能発現の機構を説明できる。</p>			
成績評価の方法			
中間・期末試験の成績で評価し、60点以上(100点満点換算)を合格とする。			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材			
【参考図書】			
小澤瀨司・福田康一郎 監修	標準生理学(第9版)	2019	医学書院
金澤一郎、宮下保司監修	カandel神経科学	2014	メディカル・サイエンス・インターナショナル
大地陸男著	生理学テキスト(第8版)	2017	文光堂
倉智嘉久著	心筋細胞イオンチャンネル	2000	文光堂(絶版)
日本生理学会教育委員会 監修	新訂・生理学実習書	2013	南江堂
Squire et al.:	Fundamental Neuroscience (4th ed)	2012	Academic Press
Katz:	Physiology of the Heart (5th ed)	2010	Lippincott Williams & Wilkins
Brodal:	The Central Nervous System (5th ed)	2016	Oxford University Press
Kandel et al.:	Principles of Neural Science (6th ed)	2021	McGraw-Hill Education
Koeppen & Stanton:	Berne & Levy Physiology, 7e	2017	Elsevier
コア・カリとの関連			
C-2	個体の構成と機能		
D-2	神経系		
D-5	循環器系		
D-13	眼・視覚系		
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系		